カリキュラム表

1．表現学科　授業科目一覧表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位	授業形態	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期	卒業要件		
基礎教育科目	学習力の養成	初年次セミナー（学習の目的と技術）	1前※集中	1	演習	●									27単位修得（18単位必修・6単位選択必修を含む）	基礎教育科目・専門教育科目の中から、124単位以上
		利他共生	1前	1	講義	●										
	思考力の養成	情報リテラシー	1前	1	演習	●										
		データリテラシー	1後	1	演習		●									
		統計分析法	2前	1	演習			○								
		問題解決法	3後	1	演習						●					
		創造思考法	4後	1	演習								●			
	表現力の養成	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎）	1前	1	演習	●										
		コミュニケーション英語Ⅱ（応用）	1後	1	演習		●									
		コミュニケーション英語Ⅲ（実践）	2前	1	演習			●								
		コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	2後	1	演習				○							
		表現技法Ⅰ（読解・分析）	1前	1	演習	●										
		表現技法Ⅱ（作文・論文）	1後	1	演習		●									
		表現技法Ⅲ（発表・討論）	2前	1	演習			●								
		表現技法Ⅳ（企画・立案）	2後	1	演習				○							
		表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）	3前	1	演習					○						
	人間力の養成	自己管理と社会規範	1前	1	演習	●										
		チームワークとリーダーシップ	1後	1	演習		●									
		地域活動と社会貢献	2前	1	演習			●								
		他者理解と信頼関係	2後	1	演習				●							
	社会力の養成	社会的・職業的自立Ⅰ	2前	1	演習			●								
		社会的・職業的自立Ⅱ	2後	1	演習				●							
	人間の理解	人間心理と人間行動	1前～	1	講義	○		○		○		○				
		現代家族と育児介護	1前～	1	講義			○		○		○		2科目2単位以上		
		健康管理と身体活動	1前～	1	講義	○		○		○		○				
		スポーツと運動科学	1前～	1	講義		○		○		○		○			
		日本社会と歴史文化	1前～	1	講義		○		○		○		○			
		生命科学と物理化学	1前～	1	講義				○		○		○			
	社会の理解	情報社会とデータサイエンス	1前～	1	講義	○		○		○		○				
		法律社会と法律問題	1前～	1	講義	○		○		○		○		2科目2単位以上		
		福祉政策と福祉制度	1前～	1	講義		○		○		○		○			
		日本国家と政治行政	1前～	1	講義			○		○		○				
		経済構造と経済政策	1前～	1	講義		○		○		○		○			
		現代医療と生命倫理	1前～	1	講義				○		○		○			
	国際の理解	国際社会と国際問題	1前～	1	講義	○		○		○		○				
		世界宗教と民族問題	1前～	1	講義		○		○		○		○	2科目2単位以上		
		世界動向と国際貢献	1前～	1	講義	○		○		○		○				
		国際平和と安全保障	1前～	1	講義		○		○		○		○			
		国際関係と日本外交	1前～	1	講義				○		○		○			
		地球環境と環境対策	1前～	1	講義			○		○		○				
専門教育科目	基礎科目	表現文化入門	1前	2	講義	●									97単位修得（35単位必修を含む）	
		言語学概論	2前	2	講義			●								
		社会言語学	2後	2	講義				●							
		言語表現論	1後	2	講義		●									
		文章表現論	1後	2	講義		●									
		創作表現論	1前	2	講義	●										
		文芸表現論	2前	2	講義			○								
		メディア表現論	2前	2	講義			○								
		現代表現論	2前	2	講義			○								
		創作表現技法Ⅰ（文章）	1前	4	演習	●										
		創作表現技法Ⅱ（文章）	1後	4	演習		●									
		創作表現技法Ⅰ（演技）	1前	4	演習	●										
		創作表現技法Ⅱ（演技）	1後	4	演習		●									
	基幹科目	文芸作品研究Ⅰ（創作の表現）	2前	2	演習			○								
		文芸作品研究Ⅱ（小説の技法）	2前	2	演習			○								
		文芸作品研究Ⅲ（論評と評価）	2前	2	演習			○								
		文芸作品研究Ⅳ（執筆の技法）	2後	2	演習				○							

卒業要件……●必修、○選択
注：開講期（前学期・後学期）は履修モデルに準じています

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位	授業形態	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期	卒業要件		
専門教育科目	基幹科目	編集文化研究Ⅰ（文字と画像）	2前	2	演習			○							97単位修得（35単位必修を含む）	基礎教育科目・専門教育科目の中から、124単位以上
		編集文化研究Ⅱ（視覚と伝達）	2前	2	演習			○								
		編集文化研究Ⅲ（広告の技法）	2前	2	演習			○								
		編集文化研究Ⅳ（出版の技法）	2後	2	演習				○							
		放送文化研究Ⅰ（発声と発音）	2前	2	演習			○								
		放送文化研究Ⅱ（文章を読む）	2前	2	演習			○								
		放送文化研究Ⅲ（言葉で話す）	2前	2	演習			○								
		放送文化研究Ⅳ（映像の技法）	2後	2	演習				○							
	展開科目	表現文化研究Ⅰ（文芸表現）	2後	4	演習				○							
		表現文化研究Ⅱ（文芸表現）	2後	4	演習				○							
		表現文化研究Ⅲ（文芸表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅳ（文芸表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅴ（創作表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅵ（創作表現）	3後	4	演習						○					
		表現文化研究Ⅶ（創作表現）	3後	4	演習						○					
		表現文化研究Ⅷ（創作表現）	4前	4	演習							○				
		表現文化研究Ⅰ（視覚表現）	2後	4	演習				○							
		表現文化研究Ⅱ（視覚表現）	2後	4	演習				○							
		表現文化研究Ⅲ（視覚表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅳ（視覚表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅴ（制作表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅵ（制作表現）	3後	4	演習						○					
		表現文化研究Ⅶ（制作表現）	3後	4	演習						○					
		表現文化研究Ⅷ（制作表現）	4前	4	演習							○				
		表現文化研究Ⅰ（放送表現）	2後	4	演習				○							
		表現文化研究Ⅱ（放送表現）	2後	4	演習				○							
		表現文化研究Ⅲ（放送表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅳ（放送表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅴ（映像表現）	3前	4	演習					○						
		表現文化研究Ⅵ（映像表現）	3後	4	演習						○					
		表現文化研究Ⅶ（映像表現）	3後	4	演習						○					
		表現文化研究Ⅷ（映像表現）	4前	4	演習							○				
	関連科目	編集文化論	2・3前	2	講義			○		○						
		出版文化論	2・3後	2	講義				○		○					
		放送文化論	2・3後	2	講義				○		○					
		映像文化論	2・3前	2	講義			○		○						
		雑誌文化論	2・3後	2	講義				○		○					
		広告文化論	3・4後	2	講義						○		○			
		新聞文化論	3・4前	2	講義					○		○				
		報道文化論	3・4後	2	講義						○		○			
		メディア産業論	3・4後	2	講義						○		○			
	演習科目	表現文化専門演習Ⅰ	1後	1	演習		●									
		表現文化専門演習Ⅱ	2前	1	演習			●								
		表現文化専門演習Ⅲ	2後	1	演習				●							
		表現文化専門演習Ⅳ	3前	1	演習					●						
		表現文化専門演習Ⅴ	3後	1	演習						●					
		表現文化専門演習Ⅵ	4前	1	演習							●				
		表現文化専門演習Ⅶ	4後	1	演習								●			

卒業要件……●必修、○選択
注：開講期（前学期・後学期）は履修モデルに準じています